



藤の実



今年もきれいに

令和5年5月12日 No.5

連休が明け…

好天の昼休み、元気に遊ぶ子どもたち



8日(月)、5連休だった今年のGWが明け、56名の子どもたち全員が元気に登校してきました。玄関で顔を合わせた子どもたちは、連休中の出来事などを笑顔で楽しそうに教えてくれました。とてもうれしかったです。

また、この時期の本校の風物詩でもある校庭の藤が、今年は連休中に開花し、右上の写真のようにとてもきれいに咲いています。もれなく「くまんばち」もブンブン飛び回っています。天気の良い日が続いており、長い休み時間にはたくさんのお子どもたちが、少しでもくまんばちを気にかけてながら元気に校庭で遊ぶ姿が見られます。

そして、藤の下の「若草の池」では、間もなく蓮の花が咲く頃となります。その池ですが、あまりにも堆積物が多くなり、3月に大掃除をしました。その際、蓮の株をかなり整理しましたので、残念ながら、今年はたくさんのお花は見られないかもしれません。株が成長するのを待ちたいと思っています。



百葉箱設置

理科の学習で活用するため、校庭の木々の間に、写真のように百葉箱を設置しました。

子どもたちが慣れるまでは、周りを囲んでおきたいと思っています。

4年生の取材を受けました！

11日(木)、4年生の誕生日係と新聞係の皆さんから取材を受けました。

誕生日係の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの3人からは、「学校の誕生にかかわること」について次の3つを聞かれました。

- ①校舎はいつからあるのか
 - ②はばたきの像の正体はなにか
 - ③藤の花はいつからあったのか
- 以下のように回答しました。

①現在の校舎は昭和61年に完成し、使用を開始した。前の校舎は、昭和31年に建てられた。(藤木小学校は明示8年にできて、下深井に分校もあった。)

②はばたきの像は、現在の校舎が完成した記念に造られた物である。正面に「はばたきの日のために」と、校歌の一節が書かれていることから「はばたきの像」と言われるようになったのかもしれない。

③藤の横に標柱がある。

- 記念植樹(桜藤)
- 四十二歳厄払記念
- 校舎改築記念
- 昭和61年(1986年)

昭和31年卒業生一同 建立

と、書かれているので、昭和31年の卒業生が、厄払いと校舎が新しくなったことを記念して植えたものであると考えられる。

次に、新聞係の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんからは、「校歌が変わった理由」について聞かれ、次のように回答しました。

・最初の校歌は昭和37年に、当時の藤木小学校の先生方によって作られ、歌われていた。新しい(今の)校歌は、昭和51年3月3日に「新校歌制定披露式」を行い、歌うようになった。昭和50年が藤木小学校創立100周年だったので、これを機会として新しい校歌が作られた。

私自身、改めて学校の沿革などを見直して確認することで勉強になりました。

今回は係活動の一つとして取材しに来てくれましたが、課題を見つけ、それを解決するために調べる活動をするのはとても大切なことです。良い活動してますね。